

# 「見える化共通入力フォーマット」を使って バス情報を オープンデータ！

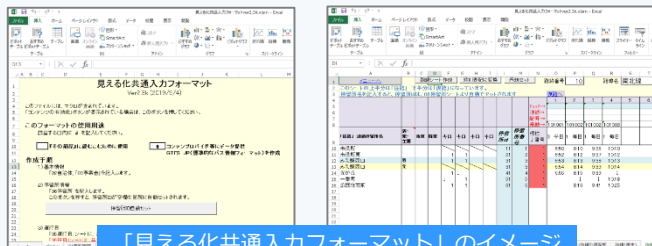


地域公共交通ネットワークの  
「見える化」

コミュニティバスの時刻情報等をオープンデータにしませんか？  
「見える化共通入力フォーマット」を使えば、国土交通省が定めた「標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）」への変換が簡単にできます。  
オープンデータで経路検索事業者等との情報共有が簡単になり、バス情報が様々なサービスに活用されるなど、多くの効果が期待されます。

## 「見える化共通入力フォーマット」とは？

- ・平成27年に三重県で導入以降、既に国内50以上の地域で活用！
- ・Excelファイルによる入力のため、特別なソフトは原則不要！（無料）
- ・初心者が見ても視覚的に理解しやすい様式です！



「見える化共通入力フォーマット」のイメージ

バス事業者・自治体担当者

データ入力

見える化共通入力フォーマット

データ変換

標準的なバス情報フォーマット

GTFS-JP  
General Transit Feed Specification Japan

オープンデータ

データ取得※

経路検索事業者、コンテンツプロバイダ  
ITベンチャー企業等、MaaS関連企業

※事業者によっては個別契約を経てデータ提供することにより、高度なサービスを受けられる場合があります。

最新  
情報

令和元年8月、「標準的なバス情報フォーマット」が内閣官房 情報通信技術（IT）総合戦略室が公開するオープンデータの「推奨データセット」として追加されました。

### 経路検索サービスの充実

- ・来訪者や訪日外国人旅行者にバスを認知してもらえます
- ・沿線住民のバス利用促進により、運転免許返納や環境負荷軽減行動等が期待できます

### データを自ら活用

- ・マイ時刻表やデジタルサイネージ等のバス利用促進ツールを作成することも可能です
- ・バス路線分析等を目的とした資料作成にも活用できます

### 将来的にはこんなことにも期待・

- ・MaaS等の新たなサービスや、自動運転バス運行システム、ベンチャー企業等によるアプリ開発等への活用にも期待
- ・許認可申請書類や報告書類の作成等、業務改善にも期待

問合せ先

中部運輸局と公共交通利用促進ネットワークでは、地域公共交通ネットワークの「見える化」を推進しています。

中部運輸局交通政策部交通企画課  
公共交通利用促進ネットワーク

TEL:052(952)8006

<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/tsukuro/>

mail:mieru@rosenzu.com

<https://www.rosenzu.com/net/>

地域公共交通ネットワークの見える化

検索

※印を@に置き換えて送信して下さい